

令和5年度 福島中学校 シラバス

学 年	3	教 科	美術	担 当	伊藤飛香	時 数	35
◆教科の目標							
基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これからを活用して問題を解決するために必要な思考力,判断力,表現力を育み,美術を主体的に生活や学習に生かそうとする力を育む。							
◆評価の観点及びその趣旨							
観 点	知識・技能 【知】		思考・判断・表現 【思】		主体的に学習に取り組む態度 【主】		
趣 旨	感性や想像力を働かせ、自分の見方や考え方、感じ方によって、美術と社会の関係、そこに機能する美術の役割について理解できる。また、表現の為に必要な知識や技術を習得し、効果を考え使用できる		感性や美的感覚を働かせて、創造する事の楽しさや深さを味わいながら、作品と自身,機能性と美しさの調和、社会などの関わりについて深く考えることができる。また、作品製作を通して、問題意識を持ち、表現方法を選択、工夫するなど、自己の課題に柔軟に対応しながら、表現することができる。		授業の内容を理解し、創造する事の楽しさや対象の美しさ、美術の持つよさに気付きながら、よりよい自己表現に向けて深く考え、粘り強く制作しようとしている。また、美術を通して芸術文化に親しむ事が出来るよう主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に参加し多面的に美術を捉え、取り組もうとしている。		
◆年間指導計画							
月	領 域	単 元 名 【 時 間 】	学 習 活 動	観点別評価の規準		評価方法	
4月	絵 画	「版画の世界」 12時間	- 一版多色版画（風景） 伝統的な板を使った間接的な表現で自分のイメージを表現し様々な視点で表現する事の楽しさを体験する。日本における版画の歴史も世界史との関連性の中で考察する。 - アイデア・スケッチ 自身のイメージを具現化するために沢山スケッチをする。	[知] 基本的な彫刻刀の使い方,道具の特性を理解し,技能を身に付けている。 日本の伝統美術、木版画について、又、それが世界に及ぼした影響について学び理解する。 [思] イメージを具現化するために仕上げにとらわれずドローイングを繰り返しながら工夫して描いている。 [主] 描くという基本的な行為から描く楽しみ,表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。		[知] ワークシート, 定期テスト, 作品提出 [思] 観察, ワークシート, 提出作品 [主] 観察, ワークシート, 提出作品	
5月			イメージを版にトレースして彫る	[知] 基本的な彫刻刀の使い方,道具の特性を理解し,技能を身に付けている。道具を安全に使うことができる。 [思] イメージを具現化するために具体的に彫刻刀を使って彫り、版のもつ特性を理解し表現している。表現意図に沿った構図を考えることができる。 [主] 描く楽しみ,表現する楽しみを味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。			
6月			- イメージを更に具体的に版を彫ることで表現し間接表現の可能性を探る。 - 色彩に入り,版を重ねる事で生まれる偶然性を生かした色彩表現の可能性を探る。	[知] 版画をする為の技術を理解し、技能を身に付けている。 [思] 自分のイメージを表現するための創意工夫をしながら取り組んでいる。 [主] 彫りや色彩を総合的にとらえ,工夫して刷りの工程を行いよりよい作品にしようとしている。 [知] 他者の作品を鑑賞する事で表現することの多様性を理解している。			
7月			- 一般多色版画（鑑賞会） 完成作品をみんなで鑑賞する。他者の作品を意識して鑑賞する事で個人と他者の個性や表現を尊重する事を学び自己を振り返るきっかけにする。 - 自分ジオラマ（3年間の自分） 立体的に小さくした三年間の自分の思い出と空間をテーマにミクスドメディアで自由に表現する。アイデア・スケッチから導入。	[知] 様々な材料、技法を効果的に使い自分の表現したいイメージを効果的に表現することができる。 「思」絵画的表現と空間的な表現をミックスさせながら、自分というものをテーマに様々な視点で表現する事の楽しさを味わい表現している。 「主」複合的な画材を味わいながら主体的に課題に取り組もうとしている。			
8月	立 体	「夏休み自宅課題」	3学期課題「3年間の自分」のアイデア・スケッチの制作 2学期最後の授業での導入を参考に3学期課題「3年間の思い出」のアイデア・スケッチの制作。	「思」3年間の思い出を様々な素材を生かして立体的に表現をする工夫をしながら、アイデア・スケッチにイメージをもとに表現をしている。		[思] ワークシート [主] ワークシート	
9月～12月	立 体	「思い出を空間に表現する」 14時間	3年間の自分 立体的に3年間の自分や自分の思い出を粘土やその他、自由な素材を使って表現する。 鑑賞会	[知] 自分のイメージをもとに空間的な造形感覚を養い、作品を作る視野の広がり、造形的な意識を身につけている。 日本の伝統美術の立体作品の一つである仏教美術について、学び理解する。 「思」イメージをもとに三次元に表現をする為、様々な素材を生かす技術を踏まえながら工夫して取り組んでいる。 「主」様々な素材に向き合いながら表現を具体化するため粘り強く取り組んでいる。		[知] ワークシート, 定期テスト, 提出作品 [思] 観察, ワークシート, 提出作品 [主] 観察, ワークシート, 提出作品	
1月～3月	絵 画	「様々な表現を体験する」 9時間	なりきり模写 教科書、資料集から好きな作家を選び、その作家の背景をも調べながら模写をする。 作家の背景からコレクションされている美術館も調べ、一生を通して美術を楽しむきっかけを作る。	[知] 美術史から選んだ作者や作品を選び、作者の表現を理解し、追体験しながら取り組んでいる。 近代美術とその時代に生きる作家について学び理解する。 [思] 作品を作る視野の広がり、造形的な意識を身につけている。 [主] 様々な素材に向き合いながら表現を具体化する為、粘り強く取り組んでいる。		[知] 定期テスト, 提出作品 [思] 観察, 提出作品 [主] 観察, 提出作品	